

県政記者クラブ加盟社 各位

令和7年11月28日
福島県土木部技術管理課

土木工事設計積算システムデータの誤りに係る記者レクについて
のことについて、下記のとおり記者レクを行いますのでお知らせします。

記

1 日 時 令和7年11月28日（金） 15：00～
2 会 場 県政記者室 会見室
3 説 明 者 土木部 次長（企画技術担当） 芳賀英幸
土木部 企画技術総室 技術管理課 課長 草野雄一
土木部 企画技術総室 技術管理課 主幹兼副課長 佐藤文裕

4 事案の概要

（1）土木工事設計積算システムの概要

- ・ 公共土木工事の工事費の算出については、土木工事標準積算基準や土木事業単価表、市販の物価資料等を基に算出している。
- ・ この基準をシステム化し販売している富士通 Japan(株)の製品を福島県の仕様に変更し土木工事設計積算システムとして使用している。
- ・ 本年10月1日の土木工事標準積算基準の改訂にあわせ富士通 Japan(株)にシステムの改修を委託したが、一部の単価について適用誤りがあり、それを使用した工事等設計書の設計金額や最低制限価格等も誤っていることから、入札手続きの中止等を行った。
- ・ 土木工事標準積算基準について、県では、毎年10月1日に改訂し、併せて、土木工事設計積算システムも、毎年、富士通 Japan(株)に改修及び保守点検を委託している。
- ・ 本システムについては、福島県土木部のほか他部局が土木工事を発注する際にも使用しており、ほとんどの市町村においても本システムを使用している。

（2）現時点の状況

10月1日以降の単価で積算した工事等について、改修後の正しい単価で再積算した後の対応件数は11月28日現在で以下のとおり。

- ① 県土木部は43件の工事等が該当、入札中止が15件、契約解除が1件発生
- ② 市町村は196件の工事等が該当、入札中止が66件、契約解除が5件発生
- ③ 県の他部局等は2件該当、入札中止、契約解除は発生しない

なお、システムの誤り発見後、富士通 Japan(株)に速やかにシステム改修を指示し、現時点で改修が完了している。

5 再発防止策

- ・ 今回のシステム誤りについては、毎年同様の内容を富士通 Japan(株)に委託しているが、該当する単価をこれまで10年間改修してきた中で初めての誤りとなる。
- ・ 今回の事案を踏まえ、富士通 Japan(株)に対し社内検査の徹底を指示するとともに、県側の新たなチェック体制を構築し、再発防止に取り組んでいく。

6 今後の対応

- ・ 本件に関しては、市町村への説明会を2回実施したほか、今後の対応についても、県が全面的にフォローアップしていく。
- ・ また、その他関係者につきましても速やか、かつ丁寧に対応していく。

【問い合わせ先】

福島県土木部技術管理課

主幹兼副課長 佐藤 文裕 (電話024-521-7458)